



多様な分野に所属する保健師の活動と能力

保健福祉学部 看護学科
准教授 俵 志江（たわら しのぶ）

連絡先 県立広島大学 三原キャンパス 3417号室
Tel & Fax 0848-60-1272
E-mail s-tawara@pu-hiroshima.ac.jp

専門分野： 公衆衛生看護学

キーワード： 保健師活動 地域包括ケア 保健師の能力

● 現在の研究について

多様な分野における保健師活動とそこで求められる役割や必要な能力に関心を持って研究をしています。

○多様な分野で働く保健師の活動と能力：

保健師の主な就業場所は都道府県保健所や市町村などの行政であり約7割を占めていますが、近年、病院・診療所などの医療機関や労働者の健康に携わる企業で就業する保健師も微増しています。また、地域包括支援センターや児童相談所のように、保健師の配置が明示されている場合もあり、保健師の活動の場は広がっています。

保健師の教育課程では、行政以外の多分野に所属する保健師の活動について、基礎教育では産業保健や学校保健、在宅看護などの中で教えられていますが、その他の分野に関しては、実習する施設としてもそれぞれの教育機関によって差があり、活動内容を伝えることは難しい状況にあります。そのため、保健師数が増加している分野の保健師の活動の現状およびその役割を明確にし、保健師に共通するコアとなる能力を示すことは、今後の保健師活動の拡大に伴い、保健師教育に必要であると考え医療・介護・産業分野の保健師に関する実態調査を行いました。

○地域包括支援センターの保健師の専門性：

2006(平成18)年に設置された地域包括支援センターの初期に、保健師の活動を明らかにすることを目的として全国調査を行い、他の専門職と比較した保健師の活動の特徴及び社会資源の創出

と連携活動との関連を明らかにしました。

これまでの研究結果は学会や論文などで発表し協力いただいた方々に少しでも還元できればと思っています。自分でも保健師の基礎教育に活用し、多様な分野における保健師活動のコアを理解できるような授業を心掛けています。

● 今後進めていきたい研究について

○地域包括ケア体制の構築を目指す国の方向性に沿って、地域で活動する保健医療職の職種も多様になっています。看護職も保健師だけでなく訪問看護師や病院の地域連携部門などの看護師等が活躍しており、相互の連携に伴う理解や認識の相違を探究したいと考えています。

○子育て環境の変化により、母子保健における子育て支援の必要性が高まっています。専門職だけでなく、住民の方々とも協力して支援体制をつくることに関わる研究を検討していきたいと思っています。

● 地域・社会と連携して進めたい内容

今までの経験を通して、研究は多くの方々と協同することで実施することができる、ということを経験しました。今後も現場との接点を大切にして協働できるフィールドを作り、保健師活動を明確化し実践へフィードバックできる研究をしていきたいと考えています。